

先進的あるいは特色ある教育課程	学校名等	課程
「アクティブ・ラーニング」	茨城県立並木中等教育学校	全日制普通科（中高一貫校）

ア 実施状況について

① 教育課程

(教育課程編成)

- ・本校は、開校10年目の中等教育学校である。各年次4クラス、計24クラスの学校である。
- ・本校では、平成27年度より「アクティブ・ラーニング（主体的・対話的で深い学び、以下AL）」を推進しており、今年度は、「ALサードステージ」に入っている。
- ・ALの目的は「アクティブラーナー（能動的学習者）」の育成であり、今年度は特に「論理力」の育成を目標として、ALを学力向上につなげる努力をしている。
- ・ALを「深い学び」に深化させるために、学年縦割りの学習である「TO学習」を平成29年1月より始めた。TOとは「Teaching Others（他の人に教える）」の頭文字である。

(授業展開)

- ・校長が平成28年3月に考案した「AL指数」を意識して授業が実施されている。「AL指数」とは、ALの実施率を示す指数で、50分授業でAL10分なら「AL20」となる。
- ・「ペアワーク」「グループワーク」の他、ICT活用のALも日常的に展開されている。

② 教員の指導力向上

(教員研修) (ALに関する研修会)

- ・平成27年12月に「(株) 学び」の寺裏誠司氏を講師としてAL教員研修会を実施した。
- ・平成28年4・5・11月、平成29年4月に校長が講師となりALミニ研修会を実施した。
- ・東京で開催されるAL関係の各種セミナーに参加するように勧めている。

(外部人材の活用)

- ・平成28年5月11日に「(株) アクティブラーニング」の得能絵理子氏、平成29年5月11日に「コスモボックス(株)」の古新舜氏による全校生徒向けのAL講演会を実施した。

③ 校内組織

- ・校務分掌の1つである「学習進路部」にAL推進担当者がいる。
- ・毎月実施している「授業ちょっと見週間」で相互授業公開を実施している。
- ・各自年間1回以上「AL型授業」を事前通告して公開することになっている。

④ 施設設備

- ・全教室にパソコン・プロジェクター・スクリーン・Wi-Fi・ミラーリングを整備済み。
- ・生徒用にiPad(80台)とWindowsタブレット(40台)がある。
- ・平成28年5月、「タイムマネジメント」を円滑に行うために、全教室に「ALタイマー(SUZUKIスクールタイマー)」を配備した。また、全教室の後方に「電波時計」を追加した。

⑤ 取組の成果の(都道府県)全体への普及・共有方法

- ・平成27年12月18日、平成28年11月11日にALの公開授業を実施した。
- ・平成29年11月30日にALおよびICT活用の公開授業を実施する予定である。
- ・県内・県外・国外からの学校訪問の際にAL型授業も見学してもらっている。
- ・校長が各種研修会・セミナーでALについて講義・解説し、ALを広める努力をしている。
- ・学校HP上の「AL宝箱」、校長通信「並木ドリーム」でALに関する情報を配信している。

⑥ その他

- ・平成28年5月、ALを学力向上につなげるために校長が「R80」を考案した。「R80」(読みはアールエイティーン)とは、授業の振り返りとして各自が80字以内の文章(2文を接続詞で結ぶ)を書くもので、思考力・判断力・表現力と「論理力」の育成を目指している。

イ 今後の課題

- ・ALが学力向上につながるということを立証していく必要がある。
- ・ALとICT活用の関係について探究していく必要がある。
- ・校長が考案した「TO学習」「AL指数」「R80」について、全国に広める努力をする。